

令和3年度進学予定者（高校卒業見込者含）
大学・短大・専修学校等在学中の皆様へ

令和3年度 ふるさと応援奨学生募集のお知らせ

この奨学金は将来、大学・専門学校等を卒業したのち竹富町内及び竹富町役場において専門的資格を必要な職業（専門職員）を目指す方の修学に必要な資金を支給することを目的としています。

専門職員とは、幼稚園教諭・保健師・看護師・保育士・管理栄養士・介護士その他、専門的な職種の資格を持っている方をいいます。

給付された奨学金は原則、返還の必要はありません。

希望される方は、申請書を「**竹富町教育委員会 総務課**」窓口でご請求又は、竹富町教育委員会ホームページに申請書を掲載いたしますのでご利用いただき、**竹富町教育委員会 総務課**まで提出して下さい。

* ご連絡いただければ、郵送での対応もいたします。

募集期間：令和2年12月1日～令和3年1月29日

対 象：竹富町に1年以上住所を有する者の子、又は竹富町に1年以上住所を有する者の扶養にある者。

学校教育法に基づく大学、短期大学及び専修学校専門課程等に在学又は、進学予定者。

奨 学 金：月額5万円

問い合わせ：〒907-0014

石垣市新栄町6-18（IT支援センター3F）

竹富町教育委員会 総務課

☎ 0980（87）-6255

FAX 0980（82）-0643

ホームページ www.town.taketomi.okinawa.jp

奨学金給付申請書

フリガナ		性別	生年月日	3 年度				
氏名		男・女	年 月 日					
本籍								
フリガナ								
現住所								
保 護 者	氏名	続柄		職業・勤務先名称				
	住所	沖縄県竹富町字						
	連絡	自宅(携帯)電話(- -)・勤務先電話()						
家 族 欄	(同一世帯の者 本人を除く)	氏名	続柄	年齢	職業・学校・学年	年間所得金額	備考	
学校名(現在)								

奨学金の給付を受けたく保護者連署のうえ申請します。

なお、申請にあたり保護者の所得状況及び町税等の納付状況について、関係台帳により教育委員会を確認することを承諾します。また、世帯状況に変更が生じた場合もこれに承諾します。

令和 年 月 日

本人住所: _____ 氏名: _____ ㊞

保護者住所: _____ 氏名: _____ ㊞

竹富町長 殿

義務履行確認書

課名	確認事項	確認年月日	課長	課長補佐	係長	係	備考
税務課	(個人) 町民税 (法人)	令和 年 月 日					
	固定資産税						
	軽自動車税						
	特別土地保有税						
財政課	町有土地賃借料	令和 年 月 日					
健康づくり課	国民健康保険税	令和 年 月 日					
	後期高齢者保険料	令和 年 月 日					
福祉支援課	介護保険料	令和 年 月 日					
水道課	水道料金使用料	令和 年 月 日					
	下水道料金使用料	令和 年 月 日					
くまりまち課	町営住宅使用料	令和 年 月 日					
使用目的		竹富町ふるさと応援奨学金					

竹富町財務規則及び竹富町補助金等交付規則により義務履行確認書の添付の必要がありますので、上記の町徴収金が完納されていることを確認願います。

令和 年 月 日

住所

氏名

印

竹富町長 西大舩 高旬 殿

令和3年度 竹富町ふるさと応援奨学生募集要項

令和2年12月1日

改正

平成30年 1月19日

令和 元年 5月29日

1 目的

竹富町内及び竹富町役場において、専門的資格を有する職を志す者の修学に必要な資金を支給することを目的とする。

2 応募資格

奨学金の給付を受ける者は、この目的に該当する者とし、(1)～(5)のいずれかにも該当するものとする。

- (1) 竹富町に1年以上住所を有する子、又は竹富町に1年以上住所を有する者の扶養にある者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づく大学・短期大学・専修学校専門課程に在学している者。
- (3) 学業、人物ともに優秀で、性行が善良である者
- (4) 保護者及び連帯保証人に町税及び使用料等の滞納がないこと。
- (5) 他の機関から給付型の奨学金を受けていない者。

3 奨学金の給付期間及び金額

- (1) 奨学金を給付する期間は、正規の最短修業期間とする。
- (2) 給付する奨学金の額は、月額 50,000円とする。
- (3) 給付した奨学金は、原則、返還を要しないものとする。ただし、条例第5条のとおり就職するものとする。又、正規の最短修業期間から6年以内に就職するものとする。

4 奨学生採用予定数

令和3年度は3名とする。

5 応募方法

下記必要書類を提出期限内に、町長(教育委員会)に提出する。

- (1) 奨学金給付申請書(様式第1号)
- (2) 自己PR調書(様式第2号)

- (3)住民票謄本
- (4)在学証明書
- (5)義務履行確認書(様式第3号)

6 書類提出期限(応募期間)

令和2年12月1日(火)～令和3年1月29日(金) 必着

7 採用の通知と手続き

奨学生選考委員会による書類選考行い、奨学生を決定したときは、本人又は保護者に対し奨学生決定通知書(様式第4号)により通知する。(2月下旬予定)

8 採用になった場合

- (1)奨学生として採用を決定された者は、通知を受けた日から14日以内に連帯保証人と連署した誓約書(様式第5号)を町長あてに提出する。
- (2)奨学生は、学校生活・活動等の内容をまとめて、毎年度末までに町長(教育委員会)まで報告する。
- (3)奨学金給付期間中は毎年4月末日までに在学証明書を提出する。

9 奨学金の送金

- (1)奨学金は、毎月10日に給付します。ただし、特別の事情があるときはこの限りではない。
- (2)給付の決定以前の奨学金は、給付決定後の直近の給付に併せて給付する。
- (3)奨学金の給付は、口座振り込み依頼書により、本人から申し出のあった金融機関の口座に振り込み、本人あてその旨を通知する。

10 給付の停止及び廃止

- (1)奨学生が休学し、又は長期にわたって欠席したときは、奨学金の給付を停止する。
- (2)奨学生が下記のいずれかに該当すると認めるときには、奨学生選考委員会の意見を聞き、奨学金の給付を廃止する。
 - ①疾病などのために修学の見込みがなくなったとき
 - ②性行が不良となったとき
 - ③前各号のほか、奨学生として適当でない事実があったとき
 - ④在学学校で処分を受け、学籍を失ったとき
 - ⑤その他条例第6条に規定する奨学生としての資格を失ったとき

12 奨学金の返還

- (1)奨学生は、学校在学中に給付の廃止となった場合及び、退学となった場合は給付を受けた奨学金の一部又は、全部を竹富町ふるさと応援奨学金給付条例施行規則(以下「規則」という。)に従い返

還すること。

(2) 奨学生であった者が、次の各号のいずれかに該当するときは、保護者又は扶養者若しくは保証人が本人に代わって奨学金を返還すること。

(1) 本人の住所などが不明のため、本人との連絡がとれないとき。

(2) 本人に督促を重ねても返還しないとき。

(3) 保護者又は扶養者若しくは保証人が、本人に代わって返還を申し出たとき。

13 奨学金の返還猶予

奨学金の返還を求められた者が、次の各号の事由に該当して返還が困難となった場合には、奨学金返還猶予申請書を町長に提出し、奨学金の返還猶予を申し出ることができる。

(1) 災害、傷病、障害によって返還が困難となったとき。

(2) その他真にやむをえない事由によって返還が著しく困難となったとき。

14 奨学金の返還免除

返還を求められた者が、次の各号のいずれかに該当するときは、給付した奨学金を本人に代わって保護者又は扶養者若しくは保証人が返還の義務を負うが、返還が困難なときは願出により、返還未済額の全部又は一部の返還を免除することができる。

(1) 死亡した場合

(2) 心身障害のため精神又は身体の機能に高度の障害を残して労働力を喪失し、又は労働能力に高度の制限を有することにより、奨学金の返還が困難となった場合。

15 卒業

卒業後は、すみやかに卒業証明書を提出しなければならない。

16 その他

休学、退学、留年、その他の学生の身分などに変更のあった場合や、住所変更、連帯保証人の変更など既に届け出た書類の記載事項に変更を生じたときは、そのつど届け出なければならない。

附 則

この要項は公布の日から適用する。